

社長退任の挨拶

金網の歴史とともに歩む家業でもあった会社の代表取締役を21年間にわたり務めました。この度退任し取締役会長に就任致しました。

山あり谷あり冒険ありの会社経営を駆け抜け今日があるのは、良いご縁に恵まれ、多くの顧客をはじめ有能な協力会社や同業他社にも支えられたからとつくづく感謝しております。

混迷の時代、コロナ禍もあって今後の経営はより難しくなると予想されますが創業明治6年以來、戦争や不況、世界恐慌の時代も乗り越えて続く社業には決算書に表記できない、語り継がれる記憶や経験情報（暗黙知財産）があるので、次の時代も新社長の裁量で切り開けると確信しています。

思い返せば、旧長澤金網工業の社長就任後まもなく親族株主要求で清算現金化して自らの持株で買取り再創業しました。「会社とは誰のものなのか」と言う本質を若くして理解できたことは幸いであったと思っています。そして今、創業者である高祖父の想いも見えてきた事が何よりの成果であったと思っています。

令和5年創業150年に向けて微力ながら会長として尽力するつもりであります。長い間、本当にありがとうございました。

令和2年 9月

取締役会長

長沢 一正

